

連載コラム

～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第12回>

皆さん、いつもありがとうございます。

コーチング研修会社ドリームフィールド阿部侑生ことユッキーですヽ(・▽・)ノ

さて、このエッセイの読者さんの中には「人を育てるって難しいなあ～」と、壁にぶち当たっていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

「子どもが勉強をしない」「言うことを聞かない」「どうしたら言うことを聞いてくれるのでしょうか・・・」と、お悩みのお母さんは本当に多いです。

企業でも新人教育を担当されている方々に話を聞いてみると

「最近の若い人の教育は難しい」

「今の若者は怒られるとすぐに、『辞めます』という」

「本当に困った」

などストレスを感じている方がとても多いのです。

しかし振り返ってみれば、私が新人だった頃も「今の若者は・・・」と散々言われていましたし、家では反抗して母を困らせていた時期もありました。

人を育てることにしては、いつの時代も、皆さん悩んでいます。ご安心ください(笑)。

さて、私の尊敬する先生が、先日、こんなことを言っていました。

「人は、人を育てるといいながら、自分にとって都合がいい人を育てようとしているだけなのではないか。自分の言うことをただ聞く人間だけを育てようとしているのではないかと。」

この話を聞いたとき、私は妙に納得しました。

なぜかという、私たちは自分の中の「こうあるべき」という基準や理想があって、それにあてはまる子が「いい子」で、そうじゃない子は「ダメな子」にしていけないだろうか、ということです。

コーチングは、目標に向かって自分で考えて、自ら進んで行動する人を育てるアプローチです。

こういう人をよく「自律型人間」と言いますが、その反対に、その人の意志に関係なく言われたことだけをやる人を「依存型人間」といいます。依存型タイプは、やらないと怒られるから仕方なくやっていて、やらされ感でいっぱい。やる気なし、つまんない。

ちなみに「依存型人間」を作るのはとても簡単です。

「あなたこのままではダメになりますよ。だからもっと頑張りなさい」

「あなた、今のままではクビです」「もっと勉強しないと高校に入れないよ」など、脅すのです。

やったらご褒美、やらなければ罰、という具合に。

ここ、ポイント！

自分が思った通りに相手を動かすのに一番効果があるのは「恐怖」なのです。

でも決してやらないでくださいね(笑)。

言うことをきくので、お母さんやリーダーには都合がいいかもしれませんが、これを続けているとしたいに、自分で考えて行動しない「依存型タイプ」になってしまいます。逆に、目標に向かって自分から進んで頑張る「自律型人間」を育てるためにはどうしたらいいのでしょうか。

続きは次回でお話しますよ～！楽しみに！

★今日のポイント★

自分の「こうあるべき」にあてはまらなくても大丈夫。いい子です♪

プロフィール

阿部 侑生（あべ ゆき）

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可（財）生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。

フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH！バンドス」（95～04）等、レギュラー出演、その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等をテーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。